令和3年度 「犬山市の子どもたち」

令和３年５月２７日に「全国学力・学習状況調査」が行われました（令和２年度は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止でした）。

対象学年は、本年度の小学校６年生と中学校３年生です。調査の内容は，小学校６年生は国語と算数、中学校３年生は国語と数学の２教科です。さらに、質問紙による学習状況や生活の様子についても調査が行われました。この調査から見えてきた、犬山の子どもたちの状況をお知らせします。各学校においては、それぞれ自校で調査結果を分析し、個人票と合わせて保護者にお知らせしています。

1　犬山市全体の正答率を全国平均と比べて

学　年	国語	算数
小学校６年生	やや低い	ほぼ全国並み

学　年	国語	数学
中学校３年生	やや高い	ずいぶん高い

2　学習指導要領の領域等

学年	〈国語〉	〈算数・数学〉
小 6	・話すこと・聞くこと ・書くこと ・読むこと ・言葉の特徴や使い方に関する事項	・数と計算 ・図形 ・測定 ・変化と関係 ・データの活用
中 3	・話すこと・聞くこと ・書くこと ・読むこと ・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・数と式 ・図形 ・関数 ・資料の活用

3　学習に関する傾向

小学校6年生

国語は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことは全国平均をやや下回る結果となっています。文中における主語と述語との関係を捉えたり、修飾と被修飾の関係を捉えたりする力をつけることが必要です。よくできているところは、思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことと、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることです。

算数は、データの活用以外は全国平均をやや上回る結果となっています。データを二次元の表に分類整理したり、示された除法の結果について、日常の場面に即して判断したりする力をつけることが必要です。数と計算についての思考・判断・表現力はあります。変化と関係における知識・技能はよく身についています。

中学校3年生

国語は、すべての領域において全国平均をやや上回る結果となっています。しかし、話し合いの話題や方向を捉えたり、質問の意図を捉えたりする力をもう少し伸ばす必要があります。特に優れているところは、書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことです。

数学は、すべての領域において全国平均をずいぶん上回る結果となっています。特に、数学的な見方や考え方、数学的な技能が優れており、計算をしたり、資料を活用したりすることがよくできています。唯一全国平均を下回った問題は、図形の領域における、平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することです。

4　学習状況や生活の様子について

質問紙による結果から、次のような状況がうかがわれました。

（○は全国平均を上回り、●は全国平均を下回る項目です）

小学校6年生

○　住んでいる地域の行事に参加している。
○　新聞を読んでいる。
○　道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
●　将来の夢や目標をもっている。
●　自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
●　自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。

中学校3年生

○　住んでいる地域の行事に参加している。
○　新聞を読んでいる。
○　学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりしている。
●　将来の夢や目標をもっている。
●　難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している。
●　友達と協力するのは楽しい。

5　新型コロナウイルス感染症の影響について

・「新型コロナウイルス感染症拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強に関して不安を感じましたか」の質問に対しては、全国平均よりも不安を感じる児童生徒の割合が少なかった。
・「新型コロナウイルス感染症拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか」の質問に対しては、全国平均より計画的に学習を続けられる児童生徒の割合が少なかった。
・「新型コロナウイルス感染症拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」の質問に対しては、全国平均より規則正しい生活を送っている児童生徒の割合がやや少なかった。

6　質問紙調査から分かる、これから各学校で力を入れたいこと

・　挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感
・　主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
・　学習に対する興味・関心や授業の理解度を高める取組

【犬山市における今後の取組】

□　読解力向上プログラムに基づいて図書館活用を促進し、各学校が工夫し、すすんで読書に親しむ子どもの育成を図ります。
□　読解力テストなどの具体的な指標を基に、授業改善を進め、学ぶ楽しさ、分かる喜びを味わうことのできる子どもの育成を図ります。
□　学習において問題を読み解く力、読解力の育成を図ります。
□　ICTの整備と活用に努め、教員のICT機器の活用研修をさらに進め、一人一台の学習用タブレット端末を活用した授業の中で、個別最適で協働的な学習を進めます。
□　自ら課題を発見し、解決策を見い出すことを繰り返すことによって、自分で計画を立てて学習に取り組める子どもの育成を図ります。
□　キャリア教育を推進し、将来の夢や目標をもつ子どもの育成を図ります。

〈担　　当〉　犬山市教育委員会　学校教育課
〈電　　話〉　0568(44)0350
〈電子メール〉　070200@city.inuyama.lg.jp